

# F311

## 取り扱い説明書

※このたびは、本製品をお求めいただきましてありがとうございます。取り扱い書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、取り扱い説明書は大切に保管し、必要なお読みください。

### お取り付け・ご使用前に必ずお読みください

警告・注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。誤ったご使用は死亡事故などの原因となります。

#### 警告

●ソケット内部に車用電源プラグ以外は絶対に入れないでください。故障の原因となります。●お手持ちのUSBケーブルを本製品のUSBポートに挿し込んで使用する際は、USBケーブルの端子部分をソケットの中に入れてください。感電や発火のおそれがあります。●運転中、運転者による本製品及び接続機器の操作は大変危険ですので絶対にやめください。●必ず車を安全な場所に停車してから、本製品及び接続機器をご使用ください。●使用前に、必ず接続機器のメモリの控えを取ってください。●本製品ご使用中に万が一、接続機器の故障やメモリ内容の消去、バッテリーパックの破損等が発生した場合、当社では一切その責任を負いかねます。●使用前に、本製品電源プラグがお車のアクセサリソケットに奥まで確実に挿し込まれているかご確認ください。接続機器の重量によっては接続機器の電源プラグが抜け落ちる場合があります。接触不良の状態で使用した場合、本製品やお車のヒューズ、アクセサリソケット破損の原因となります。●本製品の取り付け、使用が困難な場合、または、運転の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください。●ソケット部接続前に、接続する機器の消費電力をご確認ください。USBポート出力を含み合計80Wを超えた場合、本製品の破損や発火の原因となります。●市販のリールコード等、細い電線の製品を使用して充電を行った場合、電線の定格電流を超えた電流が流れてケーブルが焼損するおそれがありますので、純正ケーブルなど、よく確認したうえで使用してください。●本製品及び接続機器本体、接続機器の電池パックが高温になった場合や発煙、ショートがあった場合には、ただちに使用を中止してください。万が一異常な兆候が見られる時はただちに使用を中止し、本製品を取り外してください。●本製品電源プラグ先端やUSBポートに指定外の端子や金属を接触させたり、水気やホコリを付着させないでください。本製品及び接続機器の故障・損壊の原因となります。●本製品の分解、改造(電源プラグを分解しての直接配線)などはおやめください。本製品及び接続機器の故障、破損の原因となります。これらが起因する本製品及び接続機器のトラブルに関して、当社では一切その責任を負いかねます。

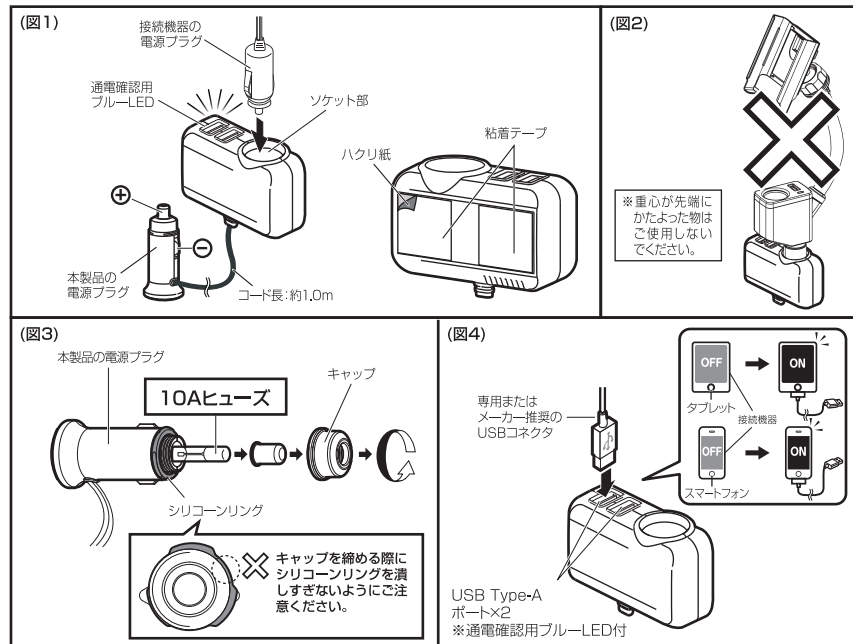
#### 注意

●本製品は、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態でご使用ください。●本製品内部のヒューズが破損した時には、車のヒューズボックスにある全てのヒューズ、また車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。●本製品をダッシュボードやエアコン吹き出し口付近など、直射日光のあたる場所や高温になる場所での使用、放置はおやめください。また、火気に近づけないようにしてください。●本製品に強いショックを与えないでください。走行中は、接続中の接続機器が落下しないようにしっかりと固定または収納してください。●上記の警告・注意の表記に従わない場合など、誤った使用・分解・改造をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

### ご使用方法

- はじめに本製品ソケット部に接続する機器の消費電力をご確認ください。USBポート出力を含み合計80Wを超えた場合、本体の破損や発火の原因となります。
- コード長とコード取り回しを考慮の上、取り付け場所を決めてください。
- 本製品は粘着テープでの取り付けです。皮革素材、布生地、曲面のきつ場所、極端なシボ(凸凹)面には取り付けできません。また、運転操作に影響のない場所に取り付けてください。取り付け部は跡や変色が起こる可能性があります。
- あらかじめ取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ、ホコリ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- 10℃以下の低温時には粘着テープに十分な粘着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も粘着力が得られない場合があります。
- 粘着テープの貼り直しは、粘着力が低下しますのでお避けください。
- 本製品裏面の粘着テープのハクリ紙をはがして、取り付け場所にしっかりと貼り付けてください。(図1)
- 粘着テープ貼り付け後は、十分な粘着力を得るために24時間放置していただき、汚れを除去してください。汚れたまま本製品電源プラグ部を挿し込むと接触不良の原因となります。
- 走行中に本製品電源プラグのキャップが緩くなる場合がありますので使用前に増し締めをしてください。
- お車のエンジンをかけた状態でご使用ください。本製品のソケット部に挿し込んでください。(図1)
- 接続機器の電源プラグを本製品のソケット部に挿し込んでください。(図1)
- 本製品には接続機器の電源プラグの抜け防止機能が備わっていますが、走行中の振動により接続機器の電源プラグが接触不良をおこす場合がありますので定期的には挿し込み状態を確認してください。
- フレキシブルチューブタイプのホルダーなど重心が先端にかたよった物は使用しないでください。(図2)

- 接続機器の電源プラグを抜く際は、本製品をしっかりと抑えて水平に抜いてください。
- 本製品のソケット部は接続機器の電源プラグ抜けを防止する為にシリコンリングを使用しており、プラグが抜けづらい構造になっていますので、取り付け用の粘着テープに負荷がかからないようにご注意ください。
- 本製品電源プラグを抜く際は、電源プラグ部分をしっかりと持ち、お車のアクセサリソケットに対して必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり斜めに無理に抜くと故障、破損の原因となります。
- 本製品の電源プラグ部はアクセサリソケットからの抜け防止のためにシリコンリングを使用しており、プラグが抜けづらい構造になっています。
- 接続機器へ給電されなかったり、本製品USB Type-Aポート部の通電確認用ブルーLEDが点灯しない場合は、本製品電源プラグ内のヒューズが切れている場合がございます。同じ規格のヒューズに交換してください。(図3)
- ヒューズ交換の際にシリコンリングを無くさないように注意してください。また、シリコンリングが極端に濡れる程キャップを締めすぎないでください。



### USBポートについて

- 安全のため接続前に必ず接続機器の電源がOFFになっているかをご確認のうえ、挿し込んでください。(図4)
- 接続機器の電源をONにして、接続機器の通電LED等が点灯しているかご確認ください。(図4)
- 使用するUSBケーブルによっては、ケーブルの被覆が熱くなる場合があります。熱くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 充電終了後は必ずUSBケーブルを本製品のUSBポートから外してください。
- USBプラグを抜き挿しする際は、本製品をしっかりと持ち、ゆっくり抜き挿ししてください。
- 本製品のUSBポートはApple(iPhone/iPad等)とAndroid(スマートフォン/タブレット等)を自動に識別し、それぞれの機種に最適な電流値で充電することができます。
- 一部の機種では自動識別機能が働かない場合がございます。
- 接続機器の適正電流値が本製品の供給電力を上回る場合は、最適な充電ができません。